

館山市の家計簿

平成22年度当初予算版



平成22年4月

館山市総務部行革財政課

平成22年度 館山市の家計簿 (一般会計当初予算)

館山市の一般会計当初予算額を、
「より身近に、わかりやすく」するために、
家計簿に例えてみました。
(予算額を3,000分の1にしています。)

【収入】

★ 給与	198万6千円
★ パート収入	29万6千円
★ 貯金の取崩し	6万4千円
☆ 親などからの援助	227万円
☆ 住宅ローン	27万4千円
☆ 生活ローン	30万6千円
合 計	519万6千円

★自主財源・・・自分で稼ぐ収入

【給与】 市税（市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税・入湯税）

【パート収入】 分担金及び負担金，使用料及び手数料，財産収入，寄附金など

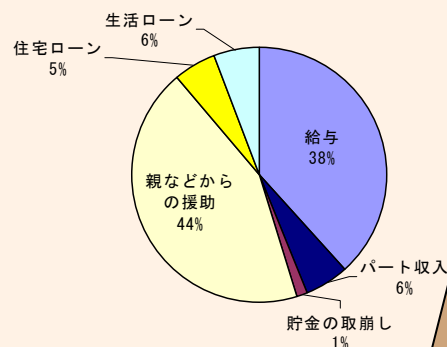
【貯金の取崩し】 他会計からの繰入金など

☆依存財源・・・親（国・県）や借入りに頼っている収入

【親などからの援助】 地方交付税，地方譲与税，交付金，国庫支出金，県支出金など

【住宅ローン】 地方債（公共施設の整備などに使うための借入金），基金からの借入金

【生活ローン】 地方債（臨時財政対策債）



もう少し くわしく 説明すると。。。

★自主財源（自分で稼ぐ収入）

【給与】

- 市税 ・ ・ ・ 市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税・入湯税などの税金
- 市民税 ・ ・ ・ 館山市民の皆さんや会社が納めた税金
- 固定資産税 ・ ・ ・ 土地や家屋などの固定資産を持っている人が納めた税金
- 軽自動車税 ・ ・ ・ 軽自動車やバイクを持っている人が納めた税金
- 市たばこ税 ・ ・ ・ たばこを買った人が負担している税金
- 都市計画税 ・ ・ ・ 農業振興地域以外の区域に土地や家屋を持っている人が納めた税金
- 入湯税 ・ ・ ・ 温泉浴場に入浴した人が負担している税金

【パート収入】

- 分担金及び負担金 ・ ・ ・ 特定の事業に必要な経費の一部を負担金として納めたもの
例) 保育園の保育料など
- 使用料及び手数料 ・ ・ ・ 市の施設などを利用するためや、市が発行する証明書類を受け取る際に納めたもの
例) 市立公民館の使用料, 住民票発行手数料など
- 財産収入 ・ ・ ・ 市有財産を借りるときに納めたもの
例) 土地使用料など

【貯金の取崩し】

- 他会計からの繰入金 ・ ・ ・ 一般会計以外の特別会計からの繰入金や基金を取り崩して収入に充てるもの
例) 老人保健特別会計繰入金, 観光振興基金繰入金など

☆依存財源（親（国・県）や借入れに頼っている収入）

【親などからの援助】

- 地方交付税 ・ ・ ・ 全国の市町村が一定水準の行政サービスを確保できるように、国が算定した標準的な支出が収入を上回る市町村に交付されているお金（普通交付税と、特殊な要因に応じて交付される特別交付税の2種類に分けられます）
- 地方譲与税 ・ ・ ・ 自動車重量税や地方揮発油譲与税など、もともと地方税として納めるべきものを国税として徴収し、市に譲与されるお金
- 交付金 ・ ・ ・ 自動車取得税交付金など、一定割合に応じて国や千葉県から交付されるお金
- 国庫支出金 ・ ・ ・ 特定の事業の経費の一部として、国から支出されるお金
- 県支出金 ・ ・ ・ 特定の事業の経費の一部として、千葉県から支出されるお金

【住宅ローン】

- 地方債（公共施設の整備などに使うための借入金）
・ ・ ・ 公共施設（道路・学校など）の建設や改修をする際に銀行などから借りたお金
- 基金からの借入金 ・ ・ ・ 基金から取り崩して借りたお金
例) 庁舎建設基金借入金繰入金

【生活ローン】

- 地方債（臨時財政対策債）
・ ・ ・ 本来なら市税や地方交付税として入ってくるお金が、国の財政事情などが原因で入ってこないため、銀行などから借りたお金

【支出】

★ 食費	109万9千円
★ 医療費・教育費	90万6千円
★ ローンの返済	65万9千円
★ 光熱水費・電化製品の購入など	76万1千円
★ 家電の修理	2万3千円
★ 地区会費・生命保険料など	79万9千円
★ 子どもへの仕送り	54万8千円
☆ 貯蓄	8千円
☆ 家のリフォーム	38万3千円
☆ 予備費	1万円
合 計	519万6千円

★経常的経費・・・生活する上で、欠かすことができない費用

【食費】 人件費（市長や市議会議員など市役所で働いている職員の給料）

【医療費・教育費】

扶助費（障害者や高齢者、子育てなどの生活をサポートするための費用）

【ローンの返済】 公債費（地方債（借金）の返済に充てる費用）

【光熱水費・電化製品の購入など】

物件費（光熱水費、事務用機器のリース代、備品の購入費、委託にかかる費用など）

【家電の修理】 維持補修費（道路や学校などを修繕するための費用）

【地区会費・生命保険料など】

補助費等（ごみ処理業務や水道業務を他の市町村と共同処理をするために設置された一部事務組合への負担金や市内の団体活動への補助金など）

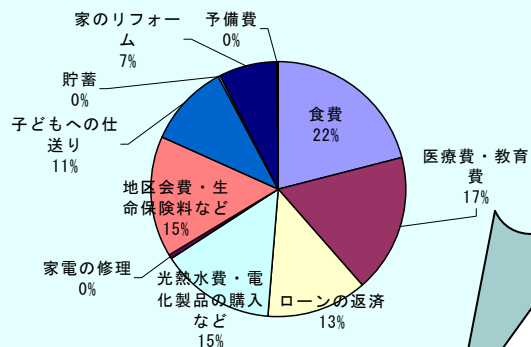
【子どもへの仕送り】 繰出金（特別会計に対して支出したお金）

☆投資的経費・・・より良い生活のために設備を整える費用

【貯蓄】 積立金（将来のために積み立てるお金）

【家のリフォーム】

投資的経費（道路や学校などの公共施設の建設や改修するための費用）



もう少し くわしく 説明すると。。。

★経常的経費（生活する上で、欠かすことができない費用）

毎年、持続して定期的に支出される経費のことです。

中でも、人件費・扶助費・公債費は『義務的経費』と呼ばれ、支出が義務付けられているので、勝手に支出するのをやめたり、減らしたりすることができません。

【食費】

人件費 ・ ・ ・ 市長や市議会議員など市役所で働いている職員の給料，各種委員の報酬，退職金などの費用
 例）職員給与，市議会議員報酬，消防団員への報酬，期末勤勉手当など

【医療費・教育費】

扶助費 ・ ・ ・ 障害者や高齢者，子育てなどの生活をサポートするための費用
 生活保護法，児童福祉法などの法令に基づいた生活保護費や児童手当などの支給や，市が単独で行う各種扶助のためのもの
 例）生活扶助費，障害者医療費，児童扶養手当，乳幼児医療費など

【ローンの返済】

公債費 ・ ・ ・ 地方債（市の借金）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための費用
 例）元金償還金，利子償還金など

【光熱水費・電化製品の購入など】

物件費 ・ ・ ・ 人件費，扶助費，維持補修費などを除く，消費的な性質をもつ経費で，賃金・旅費・需用費・委託料などの費用
 例）光熱水費，消耗品費，事務用機器のリース代，備品の購入費，委託にかかる費用など

【家電の修理】

維持補修費 ・ ・ ・ 道路や学校などの公共施設を修理するために必要な費用
 例）道路の修繕料，小中学校の修繕料など

【地区会費・生命保険料など】

補助費等 ・ ・ ・ 市内の団体活動への補助金や各種連合組織への負担金などのほか，講師謝礼などの報償費，保険料などの費用
 例）館山市観光協会補助金，安房郡市広域市町村圏事務組合負担金など

【子どもへの仕送り】

繰出金 ・ ・ ・ 一般会計と特別会計の間において支出される費用
 例）国民健康保険特別会計繰出金，下水道事業特別会計繰出金など

☆投資的経費（より良い生活のために設備を整える費用）

支出の効果が資本形成に向けられ、道路や施設など将来に残るものに支出される経費のことです。
普通建設事業費と災害復旧事業費とで構成しています。

【貯蓄】

積立金 …… 将来のために積み立てるお金
例) 財政調整基金積立金, 観光振興基金積立金など

【家のリフォーム】

普通建設事業費 …… 道路・学校などの公共施設の新増設に必要な費用
例) 工事請負費, 設計監理委託料など
災害復旧事業費 …… 大雨・暴風・地震などの災害により、被災した施設を復旧するための費用

平成22年度一般会計当初予算と 平成21年度一般会計当初予算の比較

【収入】

項目	平成21年度	平成22年度	差し引き
給与	199万2千円	198万6千円	△6千円
パート収入	28万7千円	29万6千円	9千円
貯金の取崩し	12万7千円	6万4千円	△6万3千円
親などからの援助	226万6千円	227万円	4千円
住宅ローン	47万8千円	27万4千円	△20万4千円
生活ローン	21万1千円	30万6千円	9万5千円
合計	536万1千円	519万6千円	△16万5千円

【支出】

項目	平成21年度	平成22年度	差し引き
食費	117万円	109万9千円	△7万1千円
医療費・教育費	80万2千円	90万6千円	10万4千円
ローンの返済	65万7千円	65万9千円	2千円
光熱水費・電化製品の購入など	70万7千円	76万1千円	5万4千円
家電の修理	2万7千円	2万3千円	△4千円
地区会費・生命保険料など	72万1千円	79万9千円	7万8千円
子どもへの仕送り	53万9千円	54万8千円	9千円
貯蓄	5千円	8千円	3千円
家のリフォーム	72万3千円	38万3千円	△34万円
予備費	1万円	1万円	0万円
合計	536万1千円	519万6千円	△16万5千円

平成22年度と平成21年度の当初予算を比べてみると・・・

【収入】

給与（市税）は、平成20年秋の金融不安を始めとした経済悪化が長引いていることにより、減収が見込まれるため、前年度より6千円減少しています。また、親などからの援助（国庫補助金や地方交付税など）が前年度より増加しています。これは、国や千葉県の支出金と地方交付税が増加したことによるものです。貯金の取り崩し（他会計からの繰入金）は、貯金の残高が少なくなっていますので、もしものときに使えるお金がなくならないように、前年度より減少しています。

住宅ローン（地方債：公共施設の整備などに使うための借入金）は前年度より大幅に減少しています。これは、今年度は小中学校の耐震補強や大規模改修工事がなくなることから、借入金が減少しているためです。一方、生活ローン（地方債：臨時財政対策債）は、他の収入だけでは支出を賄えないために借り入れるもので、前年度より9万5千円増加しています。

【支出】

食費（人件費）は、職員の給与カットを行った結果、前年度より7万1千円減少しています。医療費・教育費（扶助費）は、生活保護受給者が増えたことや福祉関連経費が増えたことなどにより、前年度より10万4千円と大幅に増加しています。光熱水費など（物件費）は、基幹系システム（市税の計算や住民情報を管理するコンピュータシステム）を改修することなどにより、前年度より増加しています。地区会費など（補助費等）は、一部事務組合に対する補助金が増えたことにより、前年度より増加しています。

家のリフォーム（投資的経費）は、前年度より34万円減少しています。これは、今年度は小中学校の耐震補強や大規模改修工事がなくなることによるものです。

【まとめ】

予算額の合計は、前年度より16万5千円減少しています。これは、経済悪化の影響により、給与（市税）の増加が当面見込めないこと、また、親などからの援助（国庫補助金や地方交付税など）の収入が減少することも予想されることから、支出を抑えなければいけない状況にあります。しかし、義務的経費（食費（人件費）、医療費・教育費（扶助費）、ローンの返済（公債費））は、勝手に支出するのをやめたり、減らしたりすることができないので、家計簿全体について見直すこと（収入を確保すること、支出を抜本的に見直すこと）が今後の大きな課題となっています。

館山市の家計簿
(平成22年度当初予算版)

平成22年4月作成
館山市総務部行革財政課

T E L 0470-22-3291

F A X 0470-23-3115

E-Mail gyouzai@city.tateyama.chiba.jp
